

加美町

宮崎獅子舞



みやざきししまい ふもと
宮崎獅子舞は加美町麓ふもとに所在する熊野神社の祭礼にあたり、御神霊の通り道を清めるため神輿みこしの列の先頭で舞うなど、要所で舞を奉納してきました。平成8年に町指定無形民俗文化財に指定されています。

熊野神社は元応2年(1320年)に紀州熊野本社かんじょうから勧請されたと伝わっています。その際に海路で

暴風に遭い一度は失われた御神体ですが、桃生郡深谷庄浜市(現在の東松島市浜市)の海に、獅子頭に乗った姿で漂着したと伝えられています。獅子頭が御神体と直接結びつき、護持する関係にある例は他にはほとんどありません。



舞は八つの演目(大幕/駆け出し/山落し/怒り/歯喰い/骨返し/蝶々取り/獅子愛し)で構成されており、二人立ちの獅子一頭がこれを舞います。四方を警戒しつつ山から出てきた獅子が、威勢よく駆け出し荒れ狂う様や、蝶々と戯れる姿、山の神に手なづけられる様子などが表現されます。

